



2026 年 2 月 6 日

各 位

上 場 会 社 名 株式会社 JMS
 代 表 者 名 代表取締役社長 桂 龍司
 (コード番号 7702 東証スタンダード市場)
 問 合 せ 先 執行役員コーポレート本部長 落合 芳紀
 TEL 082-243-5844

2026 年 3 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

中期経営計画 2027 で掲げる構造改革への取り組みおよび最近の業績動向を踏まえ、2025 年 11 月 7 日に公表しました 2026 年 3 月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

記

1. 2026年3月期通期連結業績予想の修正

(2025年4月1日～2026年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	66,000	500	300	100	4円08銭
今回修正予想 (B)	65,000	200	200	△800	△32円63銭
増減額 (B－A)	△1,000	△300	△100	△900	
増減率 (%)	△1.5	△60.0	△33.3	－	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	69,749	872	514	89	3円65銭

2. 差異及び修正の理由

中期経営計画 2027 で掲げるグループ最適地生産を目指した構造改革の一環として、海外を中心に生産拠点の再編に取り組んでおります。これに伴い、韓国の生産拠点において固定資産および棚卸資産の廃棄等に係る費用 7 億円（概算値）が発生する見込みであり、2026 年 3 月期決算において特別損失を計上する予定です。

また、2026 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間の売上高および利益につきましては、海外主要顧客の在庫調整に伴う成分献血用回路および血液バッグの受注減少の影響が依然として続いております。物価高騰に伴う価格転嫁や不採算品目の整理を進めているものの、業績は前回予想を下回るペースで推移しております。

これらの状況を踏まえ、2026 年 3 月期の通期連結業績予想につきましては、第 3 四半期連結会計期間までの実績および構造改革の進捗状況を勘案し、前回公表値を修正しました。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上